

事業名 CD	0104010206	予防接種事業	
細分化した事業名			
事業担当課室 CD	200400	保健課	整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	誰もが安心して暮らせるまちづくり	
	中項目	健康な暮らしを守る保健・医療の充実	
	小項目	健康づくりの推進	
関連する個別計画等		根拠条例等	予防接種法
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	予防接種法に基づき、感染症の発症及びまん延を予防する。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	乳幼児 (3ヶ月~90ヶ月) 児童・生徒 (小学6年生・中学1年生・高校3年生) 高齢者 (65歳以上) 低所得者
これまでの改善経過	平成13年度よりインフルエンザ予防接種助成(2,500円)。 平成16年度より日本脳炎Ⅱ・Ⅲ期(小学4年、中学3年)個別接種化。 平成17年度中途より、日本脳炎接種勧奨差控え勧告及び第Ⅲ期廃止。 平成18年度より麻しん・風しん混合ワクチン(満1歳児、年長児対象)接種開始。 平成20年度より麻しん・風しん混合ワクチンⅢ期・Ⅳ期接種開始。(平成24年度までの措置) 平成22年度より日本脳炎の接種が再開され、国の指針に基づき、3歳児に積極的に勧奨を実施。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 <input checked="" type="checkbox"/>市 <input checked="" type="checkbox"/>委託 <input type="checkbox"/>補助金 <input type="checkbox"/>その他 ()</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別予防接種 : 麻しん風しん混合・二種混合・三種混合・BCG・日本脳炎・インフルエンザ 集団予防接種 : ポリオ 業務内訳 : 個別予防接種は医療機関に委託。 集団予防接種は、受付確認事務(職員)、問診(医師)、接種(医師及び看護師) <ul style="list-style-type: none"> 生後2ヶ月の乳幼児保護者に予防接種手帳(各種予防接種の予診票含む)を交付 日本脳炎の接種再開に伴い、3歳児に個別通知、3歳児健診にて勧奨 麻しん風しんの対象者(Ⅱ~Ⅳ期)に個別通知、未接種者に勧奨通知を送付 高齢者にインフルエンザの予診票等の案内を送付
事業の成果 (どのような状態にしたのか) (どのような効果を得るのか)	乳幼児・児童・生徒の感染症の発生や、高齢者のインフルエンザの重症化を防止する。 インフルエンザは、20年度においては「安心実現のための緊急総合対策」として、生後6ヶ月から6歳以下の乳幼児を対象に1人につき2500円の補助を行い、乳幼児のインフルエンザ感染防止に努めた(709人に対し、1639千円)。21年度は、低所得者に対する国県補助事業のほか、市単独事業として満1歳~小学6年生の1回目接種費用(3,600円)を助成した(1,871人、6,735千円)。 日本脳炎については、平成22年度より接種が再開され、国の指針に基づき、接種勧奨を行った。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	39,247	44,768	44,741
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金		756	995
	市債			
	その他			
	一般財源	39,247	4,4012	43,746
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	0.46	0.45	0.25
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	3,178	3,070	1,680
D	総事業費(A+C) (千円)	42,425	47,082	46,241
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	1,451 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分かりやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			20年度	21年度	22年度
活動指標	対象者 (各予防接種標準年齢)	ポリオ(1回目): 3~18ヶ月児	265	253	224
		三種混合(1期初1回目): 3~12ヶ月児	263	251	217
		麻しん・風しん混合(I期・II期): 1歳児・6歳児	617	571	508
		麻しん・風しん混合(III期・IV期): 13歳児・18歳児	745	729	750
		日本脳炎(1期初1回目): 3歳児			254
		高齢者インフルエンザ	7,223	7,341	7,323
成果指標	接種者数	ポリオ(1回目): 3~18ヶ月児	149	138	77
		三種混合(1期初1回目): 3~12ヶ月児	185	171	190
		麻しん・風しん混合(I期・II期): 1歳児・6歳児	542	518	459
		麻しん・風しん混合(III期・IV期): 13歳児・18歳児	684	678	663
		日本脳炎(1期初1回目): 3歳児			127
		高齢者インフルエンザ	4,920	4,726	4,868
効率指標	接種率(%) (算出式) 接種者/対象者	ポリオ(1回目)	56.2	54.5	34.4
		三種混合(1期初1回目)	70.3	68.1	87.6
		麻しん・風しん混合(I期・II期)	87.8	90.7	90.4
		麻しん・風しん混合(III期・IV期)	91.8	93.0	88.4
		日本脳炎(1期初1回目)			50.0
		高齢者インフルエンザ	68.1	64.4	66.5

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A妥当である <input type="checkbox"/> Bほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C妥当でない 予防接種法に基づいた事業であり妥当である。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input checked="" type="checkbox"/> A上がっている <input type="checkbox"/> Bほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C上がっていない 予防接種を行うことにより、重篤な患者が発生していない。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A効率的である <input checked="" type="checkbox"/> Bほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C効率的でない 接種単価は、全国医師会で定められたものである。 新型インフルエンザにおいても県の指示により設定。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 接種率90%程度を目指す	(2) 24年度 麻しん排除計画に基づき、最終年度となる麻しん・風しん混合ワクチンの第III・IV期の接種率を95%以上とする。	(3) 23年度 全体を通じて接種率の向上を図る 日本脳炎の接種再開に伴い、対象者へ接種勧奨を行う。
	22年度の改善計画 現行どおり		
	22年度の改善結果 現行どおり		
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)	個別予防接種委託契約について相互乗り入れ制度に賛同している市町村との連携を図りながら、契約事務の効率化に努める。 医師会との連携により、集中した接種日を設定することによる経費節減		
課長所見	日本脳炎は接種が再開されたことにより、接種勧奨の対象者が毎年変わってくるので周知活動を徹底し、高い受診率を確保することが重要		